各種報告 ＜兵庫医療大学＞

平成28年度 兵庫医療大学 卒業生進路実績

※平成29年4月11日現在

◆ 概要

		薬学部		看護学部		リハビリテーション学部			
		医療薬学科		看護学科		理学療法学科		作業療法学科	
		28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
卒業者数		118名	138名	93名	99名	40名	41名	51名	47名
内訳	就職者数	50名	66名	92名	97名	40名	39名※	49名	45名
	進学者数	1名	0名	1名	0名	0名	1名※	0名	0名
	その他	67名	72名	0名	2名	0名	2名	2名	2名

※就職し、且つ大学院にも進学した者をそれぞれに計上

◆ 進路一覧

【薬学部 医療薬学科】

病院薬剤師

兵庫医科大学病院
南大阪病院
宝塚三田病院
西宮協立脳神経外科病院
関西ろうさい病院
ベリタス病院
ベルランド総合病院
中東遠総合医療センター
兵庫県立尼崎総合医療センター
兵庫県立がんセンター
東住吉森本病院
姫路聖マリア病院
武田病院
星ヶ丘医療センター
大阪済生会茨木病院

保険薬局・ドラッグストア

フタツカ薬局グループ
有限会社サンミ企画
株式会社グッドプランニング
株式会社アカカベ
ゆう薬局グループ
ウエルシア薬局株式会社
株式会社サンドラッグ
株式会社スギ薬局
株式会社マツモトキヨシ
株式会社コクミン
日本調剤株式会社
トリニティー株式会社
株式会社　アマノ
株式会社クリエイトエス・ディー
株式会社レデイ薬局
あおぞら調剤薬局

企業・その他

株式会社ツムラ
科研製薬株式会社

進学

埼玉大学大学院

【看護学部 看護学科】

看護師・助産師

兵庫医科大学病院
兵庫医科大学ささやま医療センター
神戸大学医学部附属病院
大阪大学医学部附属病院
大阪市立大学医学部附属病院
京都大学医学部附属病院
市立伊丹病院
北播磨総合医療センター
西神戸医療センター
兵庫県立がんセンター
兵庫県立淡路医療センター
兵庫県立こども病院
大阪急性期・総合医療センター
市立豊中病院
三菱神戸病院
明和病院
済生会兵庫県病院
神戸アドベンチスト病院
関西ろうさい病院
製鉄記念広畑病院
明石医療センター
甲南病院
ツカザキ病院
姫路赤十字病院
入江病院
淀川キリスト教病院
済生会吹田病院
愛仁会高槻病院
香芝生喜病院
中村病院

保健師

三田市
加古川市
篠山市
宝塚市
NTT西日本関西健康管理センター

進学

兵庫県立総合衛生学院　助産学科

【リハビリテーション学部 理学療法学科】

兵庫医科大学病院
兵庫医科大学ささやま医療センター
大阪医科大学附属病院
西脇市立西脇病院
大垣市民病院
尼崎中央病院
神戸海星病院
明石リハビリテーション病院
星ヶ丘医療センター
りんくう総合医療センター
関西ろうさい病院
赤穂中央病院
新須磨リハビリテーション病院
協和会病院
西川整形外科クリニック
神戸リハビリテーション病院
姫路聖マリア病院
広畑センチュリー病院
神戸マリナーズ厚生会病院
ポートアイランド病院
西記念ポートアイランドリハビリテーション病院
あんしんクリニック
吉田病院附属脳血管研究所
順心会順心リハビリテーション病院
愛仁会　高槻病院
耳原総合病院
森之宮病院
ときわ病院
関西リハビリテーション病院
松下記念病院
東大阪病院
馬場記念病院
岡山済生会総合病院

【リハビリテーション学部 作業療法学科】

兵庫医科大学ささやま医療センター
神戸市民病院機構中央市民病院
はくほう会セントラル病院
宝塚三田病院
大村病院
六甲アイランド甲南病院
石川病院
みきやまリハビリテーション病院
姫路中央病院
播磨大塩病院
神戸ゆうこう病院
松本病院
東加古川病院
名谷病院
神戸協同病院
吉田病院附属脳血管研究所
播磨サナトリウム
半田中央病院
仁恵病院
荻原みささ病院
向陽病院
大山病院
新生病院
大池病院
ときわ病院
摂津医誠会病院
岸和田盈進会病院
馬場記念病院
大阪府済生会泉尾病院
関西サナトリウム
分野病院
吉田病院
五条山病院
登美ヶ丘リハビリテーション病院
丹後中央病院
ウエルハウス清和台
西宮すなご医療福祉センター
みなとのこども診療所
ハートランドしぎさん
根洗学園

平成28年度 兵庫医療大学 国家試験結果

第102回　薬剤師国家試験

（試験日：平成29年2月25日・26日、合格発表：平成29年3月28日）

区分	6年制新卒			6年制既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	118	52	44.1%	89	47	52.8%
【参考】本学昨年度	102	44	43.1%	119	85	71.4%
全　国	8,291	7,052	85.1%	4,515	2,295	50.8%

第106回　看護師国家試験

（試験日：平成29年2月19日、合格発表：平成29年3月27日）

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	93	93	100.0%	1	1	100.0%
【参考】本学昨年度	98	97	99.0%	1	1	100.0%
全　国	56,381	53,177	94.3%	6,153	2,190	35.6%

第103回　保健師国家試験

（試験日：平成29年2月17日、合格発表：平成29年3月27日）

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	29	29	100.0%			
【参考】本学昨年度	36	36	100.0%	1	1	100.0%
全　国	7,590	7,172	94.5%	617	278	45.1%

第100回　助産師国家試験

（試験日：平成29年2月16日、合格発表：平成29年3月27日）

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	8	8	100.0%			
【参考】本学昨年度	9	9	100.0%			
全　国	2,044	1,904	93.2%	9	5	55.6%

第52回　理学療法士国家試験

（試験日：平成29年2月26日、合格発表：平成29年3月29日）

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	40	40	100.0%			
【参考】本学昨年度	41	40	97.6%	1	1	100.0%
全　国	10,721	10,319	96.3%	2,998	2,069	69.0%

第52回　作業療法士国家試験

（試験日：平成29年2月26日、合格発表：平成29年3月29日）

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	51	51	100.0%	2	1	50.0%
【参考】本学昨年度	47	46	97.9%	4	3	75.0%
全　国	5,303	4,800	90.5%	680	207	30.4%

*既卒についてはすべて一括出願のみ

看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士の新卒合格率100%を達成！！

平成29年度　兵庫医療大学　入学試験結果

学部学科	薬学部 医療薬学科											看護学部 看護学科								リハビリテーション学部 理学療法学科					リハビリテーション学部 作業療法学科				
定員	150											100								40					40				
入試種別	推薦					一般						推薦			一般					推薦		一般			推薦		一般		
	専願	指定校	公募S	公募A	公募B	前期A	前期B	前期C	センター(前期)	後期	センター(中期)	専願	公募S	公募A	前期A	前期B	センター(前期)	後期	センター(後期)	専願	公募A	前期A	前期B	センター(前期)	専願	公募A	前期A	前期B	センター(前期)
募集人員	20	5	10	10	10	35	25	15	7	10	3	20	7	10	35	15	5	5	3	10	4	16	8	2	13	4	13	8	2
志願者	49	5	53	141	86	255	153	117	28	90	8	155	149	249	353	284	48	88	5	75	114	145	152	40	44	37	51	38	15
受験者	49	5	53	140	85	248	146	108	25	84	8	154	149	248	351	278	48	88	5	75	114	144	151	40	44	37	51	38	15
合格者数	32	5	31	61	12	101	59	33	7	36	3	20	18	42	78	32	10	5	1	11	7	39	23	13	13	9	25	17	5
入学者数	32	5	19	25	9	22	25	18	1	24	2	20	14	25	46	11	1	5	1	11	5	20	12	0	13	6	16	7	1
入学者数計	182											123								48					43				

卒業生の今

～第一線で活躍する卒業生～

大学教員として診療、教育、研究に携わる

Noriko Kamata

鎌田 紀子（かまた のりこ）さん

- 出身学部　兵庫医科大学　医学部
- 卒 業 年　平成10年3月卒業
- 勤 務 先　公立大学法人　大阪市立大学

迷うことなく消化器内科医の道へ

父が大学の消化器内科で勤務していたため、自宅には医学の専門書が多く並んでいた。そのような環境で育った鎌田氏が消化器内科医の仕事に興味を持ったのは必然だったのかもしれない。「医師を志したのも今の勤務先を選んだのも、おそらく父の影響を受けていたのでしょうね」。

鎌田氏は、兵庫医科大学を卒業後、自宅からの通勤の利便性が高い大阪市立大学へ入職した。研修医時代に担当オーベン（指導医）の専門が消化器内科の炎症性腸疾患であったため、興味を持って専門にすることを決めた。「思い返すと、学生時代から進路に迷うことがありませんでした。ごく自然な流れで今まで来ています」。鎌田氏は現在、あの日、父が勤めていた大学の講師として、臨床だけでなく教育と研究に携わっている。

大学の講師として、診療だけでなく教育、研究にも勤しむ

消化器内科医として、1日あたり30人から40人ほどの外来患者さんを診療。20代から40代のクローン病や潰瘍性大腸疾患を抱えた患者さんが多いという。「炎症性腸疾患の中には難治性の人も多く、手術が終われば完治という類の疾病ではありません。長期間にわたって、患者さんと一緒に病気と向き合います」。

2年半前からは、院内の他部署である総合診療センターも兼務。プライマリケアから一般内科まで、自分が何科にかかればいいのか分からない方の診断を行い、他科へ送り出す業務は容易ではない。「総合診療に関しては、自分の専門以外の幅広い知識が求められるため、日々勉強という思いで従事しています」。モチベーションの高い人が集まる総合診療センターのカンファレンスも、多くの発見があり、いい刺激になっているようだ。

大学教員という立場から、研修医や医学部高学年次の学生への実技指導も行う。「腹部診察、聴診、内視鏡シミュレーター、AEDの実技などを教えています。OSCE（共通実技試験）対策の一環で面接官役となって演習を行うなど、消化器内科だけ担当していた頃とは全く異なる業務も増えましたね」とほほ笑む。

また、クローン病に対する生物学的製剤（点滴・注射）の有効性に関する研究を行い、三足のわらじをはいて多忙な日々を送っている。

患者さんの気持ちが分かる医師でありたい

働くうえでのやりがいについて尋ねてみると、患者さんから感謝されるとうれしいという。「もし先生が別の病院へ行くとしたら、私もついていきます」と言われたこともあるそうだ。消化器内科の教員で女性医師は鎌田氏のみという環境であるが、「女性医師だからこそ言えることもあるようなので、それに応えたいと思い診療しています」。

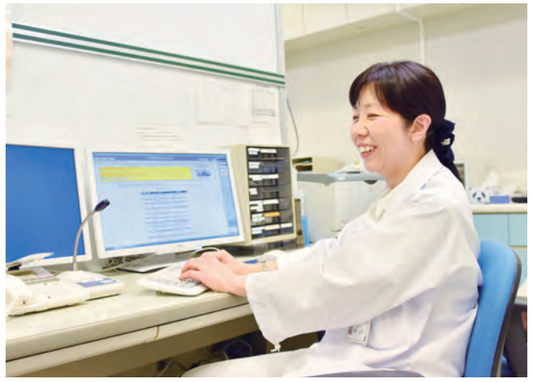
疾病の話に留まらず人生相談までされることもある。「10年以上にわたって担当している患者さんもいます。言うことを聞かなかった子どもが積極的に治療を受けるように変わった姿を見ると、親や姉のような気持ちになり、感慨深くなりますね」。

そんな人間味にあふれる鎌田氏が患者さんと接する際に心に留めているのは、「少しでも不安な気持ちが減るように接すること」。自らが難病であると知って落胆し、マイナス思考に陥る方もいるが、「生活の質を上げて、一緒にがんばりましょう」と声をかける。

母校、兵庫医科大学の良いところは、心優しく温かい学生が集まっているところだと鎌田氏は話す。「勉強に部活に、充実した6年間はあっという間に過ぎました」。現在も、兵庫医科大学の先生と共同研究を行っているうえ、同業界の人は家族のような存在。偶然にも、兵庫医科大学 炎症性腸疾患内科の中村教授は大阪市立大学の出身で縁もある。

「兵庫医科大学の後輩には、医師として、病気だけではなく、その人全体を見る姿勢を持って欲しいと思っています。勉強はもちろん大事だけれど、一人ひとりの気持ちにも着目してほしい。医師になると大変なことも経験すると思いますが、努力をすればきっと報われるので決してあきらめないでください」。

炎症性腸疾患の専門医はまだまだ不足しているため、鎌田氏と同じ意志を持って難病に挑み、多数の患者さんと向き合う医師が増えることを願う。



平成29年度の主な事業計画・部門計画

兵庫医科大学

- 教育研究棟の建設完成に伴う新規什器備品の購入、IT・情報システムの完成及び教育研究棟完成後の移転計画の立案と移転の実施
- 大学認証評価（大学基準協会）の申請完了後の実施調査準備と対応

兵庫医療大学

- 学生のドロップアウト防止、進級率アップ、薬学部国家試験合格率アップに向けた学習支援の強化
- 「兵庫医療大学社学連携推進機構」の設置による地域社会との連携推進
- 将来構想としての次代に向けた教学ビジョン『HUHS vision20』の策定

兵庫医科大学病院

- 新病院棟建設に向けた病院収支改善

ささやま医療センター・ささやま老人保健施設・ささやま居宅サービスセンター

- 篠山キャンパス各施設（事業所）の収支改善

健康医学クリニック

- 健康医学クリニック全体の収支改善

法人部門

- 経営改善への取り組み
- 新病院棟整備計画案の策定
- 第3次中期事業計画の策定
- 臨床研究中核病院承認取得に向けた兵庫医科大学の臨床研究の適正化及び活性化
- 法人全体の情報共有化

平成29年度　学校法人兵庫医科大学　予算

平成29年度予算について、平成29年3月24日に開催された理事会において次のとおり決定しました。

1. 平成29年度予算編成にあたって

本法人は教育研究棟に続き、平成37年度の新病院棟建設という新しい目標に向かって取り組むことが決定し、その目標実現に向けた財務基盤の確立が重要な課題となっています。

しかしながら、教育研究棟建設費の他、大型施設・設備投資による維持保守費・減価償却費やエネルギーコストの増加、新規施策の実施等に伴う人件費増など固定経費は確実に増加しています。

このような状況のもと、平成29年度予算は限られた財源の中で大学病院の医療機器更新や配管等施設の更新・改修、健康医学クリニックのシステム増強等を行いながらも、大学病院、ささやま医療センター及びささやま老人保健施設においては、それぞれが医療収入の増加策を、医科大学及び医療大学においても様々な支出抑制策を検討し、学校法人兵庫医科大学の持続的投資を可能とする適正な収支差額を確保しました。

2. 平成29年度事業活動収支予算の概要

平成29年度は新病院棟建設計画の達成に必要な収支差額確保のため、各部門の事業計画に連動した予算となっており、事業活動収入については、大学病院の稼働日数増加や医療支援センターの本格稼働による病床稼働率の向上、ささやま医療センターの短期入院推進、健診事業拡大、ささやま老人保健施設の通所リハビリテーションの充実等により合計55,152百万円（前年度予算比＋2,285百万円）を計上しています。

事業活動支出については医療収入増に連動する医療経費増をはじめ、教育研究棟の竣工に伴う移転、機器整備及び図書資産の処分、医療コンサルティング導入による新病院棟建設計画の本格始動等により合計52,943百万円（前年度予算比＋1,468百万円）を計上しています。

その結果、平成29年度基本金組入前当年度収支差額（旧帰属収支差額）は、2,208百万円を確保する予算となっています。

3. 平成29年度施設・設備関係支出について

施設関係支出　（単位：百万円）

教育研究棟新築工事（含設計監理費）	2,902
西宮キャンパス施設更新・改修工事等（含情報）	1,126
医局再編移設工事等	21
大学病院PET安全キャビネット追加工事等	18
篠山キャンパス施設更新・改修工事等（含情報）	39
篠山キャンパス監視カメラ整備工事等	10
神戸キャンパス施設更新・改修工事等	11
合計	4,129

設備関係支出　（単位：百万円）

教育研究棟関連設備・機器等（含情報）	2,089
法人部門情報機器・リビエール厨房機器更新等	22
兵庫医科大学教育研究設備・機器等（含図書）	182
大学病院医療設備・機器備品等	1,034
ささやま医療センター医療設備・機器備品等	120
ささやま老人保健施設医療設備・機器備品等	14
兵庫医療大学教育研究設備・機器等（含図書、情報）	167
合計	3,630

注）百万円未満切り捨て表示のため、合計表示とは必ずしも一致しません。

平成29年度収支予算

事業活動収支予算（旧消費収支予算）　（単位：百万円）

収入の部	科目	平成29年度	平成28年度	増減額
	学生生徒等納付金	7,588	7,544	44
	手数料	310	330	▲ 19
	寄付金	756	661	94
	経常費等補助金	2,571	2,597	▲ 26
	付随事業収入	41,958	40,863	1,095
	雑収入	610	473	136
教育活動収入計		53,795	52,470	1,325
	受取利息・配当金	158	251	▲ 92
教育活動外収入計		158	251	▲ 92
	その他の特別収入	1,197	145	1,052
特別収入計		1,197	145	1,052
事業活動収入計		55,152	52,867	2,285

支出の部	科目	平成29年度	平成28年度	増減額
	人件費	23,657	23,297	360
	教育研究経費	4,286	3,639	646
	医療経費	19,026	18,448	578
	管理経費	1,723	1,853	▲ 129
	減価償却費	3,709	3,655	53
	徴収不能額等	14	14	0
教育活動支出計		52,418	50,908	1,509
	借入金等利息	67	64	3
教育活動外支出計		67	64	3
	資産処分差額	257	301	▲ 43
特別支出計		257	301	▲ 43
予備費		200	200	0
事業活動支出計		52,943	51,474	1,468
基本金組入前当年度収支差額		2,208	1,392	816
基本金組入額合計		▲ 2,395	▲ 7,420	5,024
当年度収支差額		▲ 186	▲ 6,027	5,841

資金収支予算　（単位：百万円）

収入の部	科目	平成29年度	平成28年度	増減額
資金収入	学生納付金収入	7,588	7,544	44
	手数料収入	310	330	▲ 19
	寄付金収入	1,856	661	1,194
	補助金収入	2,624	2,696	▲ 72
	資産売却収入	1,500	500	1,000
	事業収入	41,958	40,863	1,095
	受取利息・配当金	158	251	▲ 92
	雑収入	610	473	136
	借入金等収入	5,102	4,118	984
	※1）			
	収入の部　合計	61,710	57,438	4,271

※1）前受金収入、その他の収入、資金収入調整勘定を除く

支出の部	科目	平成29年度	平成28年度	増減額
資金支出	人件費支出	23,506	23,263	243
	教育研究経費支出	4,286	3,639	646
	医療経費支出	19,026	18,448	578
	管理経費支出	1,723	1,853	▲ 129
	借入金等利息支出	67	64	3
	借入金等返済支出	1,125	1,163	▲ 38
	施設関係支出	4,129	10,819	▲ 6,690
	設備関係支出	3,630	1,582	2,048
	資産運用支出	0	0	0
	予備費	200	200	0
	※2）			
	支出の部　合計	57,696	61,034	▲ 3,338

※2）その他の支出、資金支出調整勘定を除く

資金収支差額	4,014	▲ 3,596	7,610

注）百万円未満は切捨て表示のため合計表示とは必ずしも一致しません。

The Professional
ザ・プロフェッショナル

医科と歯科をつなぐ
～オーラルマネジメントの重要性～

兵庫医科大学病院　歯科口腔外科
主任教授　岸本 裕充

口腔ケアの重要性にいち早く着目し、活動を続けてきた岸本主任教授。研修医時代やアメリカ留学時にさまざまな診療科の医師と交流した経験などから医科・歯科連携を推進するとともに、オーラルマネジメントの普及に尽力。術後肺炎の予防や、ビスホスホネート関連顎骨壊死（BRONJ）の予防・治療などで成果を上げている。

医科・歯科連携の必要性を高めた立役者

一般的に「大学病院の歯科口腔外科」と言えば、以前はがんや顎の骨折といった口腔外科分野の手術を行うことが主で、歯科治療は軽視されがちだった。しかし今から20年ほど前、岸本主任教授は「口腔ケア」の重要性にいち早く気づき、普及のため、講演や出版などの活動を始めた。当時、抗生物質の多用による多剤耐性菌（MRSA）の問題も深刻になってきており、「抗生物質をなるべく使わずに感染を少なくすることを考えたら、口の中を物理的にきれいにするという基本が大切なことに気がついた」のだという。

実際に、兵庫医科大学病院で取り組んだプロジェクトでは、食道がんの患者さんに手術前の歯科治療を含めたオーラルマネジメントを行ったうえで、ICUにおいて看護師が口腔ケアをしたところ、術後肺炎を約5分の1にまで減らすことに成功した。こうした取り組みが実を結び、医療におけるオーラルマネジメントの必要性が注目され、平成24年には手術前後のオーラルマネジメントは「周術期口腔機能管理」として、歯科診療報酬の項目にも追加された。医科・歯科連携の必要性を訴え、わが国において歯科の新しい存在意義を作った立役者の一人が岸本主任教授だといって良いだろう。

オーラルマネジメントで「食べられる口をCREATE」

岸本主任教授は現在、口腔ケアから一歩進んだ考え方である「オーラルマネジメント」の必要性を“CREATE”という英単語に当てはめて普及に努めている。

- C　Cleaning：清掃（歯磨きなど）
- R　Rehabilitation：リハビリ（嚥下訓練など）
- E　Education：教育（患者さんなどへ）
- A　Assessment：評価（口の中を正しく判断）
- T　Treatment：歯科治療
- E　Eat, Enjoy：食べる、楽しむ

近年、健康への意識は高まってきたが、歯や口の中への関心はまだ低いのが現状だ。「むし歯や歯周病を放置していると、病気になった時に誤嚥性肺炎などの術後合併症のリスクが高くなります。また、災害時においても避難所などで歯を磨けず肺炎のリスクが高まることが分かっています。いつ病気になるか、いつ災害が起こるか分からないですから、普段から歯の治療を行うなど、オーラルマネジメントを意識することが大切です」。

むし歯や歯周病が、がんなどの治療の妨げとなることや、全身の健康に悪影響を及ぼすことについては、医療職者の間でもまだ認識が十分ではないという。そうした現状を踏まえ、「オーラルマネジメントの重要性を広く伝え、医科大学の中にある歯科口腔外科の主任教授として医科と歯科とをつなぐことが私の役目だと思っています」と自身の使命感を語る岸本主任教授。その言葉どおり、兵庫医科大学病院では実際に各診療科と歯科口腔外科が連携し、食道がんや心臓の手術、骨髄移植（造血幹細胞移植）など合併症のリスクの高い患者さんに、まず歯科口腔外科で診察・治療を受けていただく体制が整っている。

歯と口の健康に関心を持ってもらうために

そんな岸本主任教授が最近力を入れているのが、乳がんや前立腺がん、骨粗鬆症の治療に用いられるビスホスホネートの影響で顎の骨が障害される「ビスホスホネート関連顎骨壊死（BRONJ）」の予防・治療だ。「患者さんが安心してがんなどの治療に専念できるよう、診療科と連携して、オーラルマネジメントを応用しながらサポートしています」。症状が進行している場合でも、なるべく顎の骨を温存した治療を行うよう努めているため、治療が難しいといわれた患者さんが各地から集まる。

また、それに比例するように、講演の依頼も増えている。岸本主任教授が全国各地で行っている、口腔ケアやBRONJなどに関する講演の数は年間40～50。加えて、他大学や専門学校からの講義依頼も相次ぎ、一年中ほとんど休む日はない。それでも「講演などの活動は、僕にとって『音楽バンドのライブ』のようなものなんです。自分のやってきたことや想いを伝えて、それで拍手がもらえるわけですからね。地方に行くとおいしいものも食べられるし、電車に乗るのも好きだから、講演旅行でリフレッシュしています」と笑う。

「もっと多くの人々に、歯と口の健康に関心を持ってもらいたい」と熱く話す岸本主任教授。今日も寸暇を惜しんで、口のプロフェッショナルとしての活動を続けている。

気になる授業
兵庫医科大学・兵庫医療大学の魅力たっぷりの授業をご紹介します！

兵庫医科大学
「医学部へようこそ」「医学概論入門（アカデミックリテラシー教育科目）」（1年次）

兵庫医科大学の新入生に対して行う導入教育から、次の２科目を紹介します。

「医学部へようこそ」

基礎・臨床を問わず医学研究分野で優れた業績をあげた教員や、医療の最前線で活躍している教員など、毎回異なる教員が自身の体験談を講演し、入学したばかりの新入生に対してエールを送る講義です。

本講義が医学に対する興味をさらに深め大きな目標を抱く機会となり、医師としてだけでなく人間として先輩である方々の話を聞くことで、人生、将来、社会や医療について深く考える機会となることが期待されます。

また、兵庫医科大学の歴史、創始者森村茂樹先生の足跡、同窓会についての講演もあり、兵庫医科大学への愛着を深めることができる講義です。

平成29年度は、4月6日に野口学長が「医学への道」という内容でトップバッターとして講演し、1年次生全員が真剣に耳を傾けました。

「医学概論入門（アカデミックリテラシー教育科目）」

大学での学習に必要なスキルである「情報収集」「情報発信」「論理的思考」「論理的文章作成」などの基本的な能力を身に付けることを目標に開講しています。

この科目は、それぞれ異なる目標を持つ5つのユニットで構成しており、各ユニットで学生が数人ずつのグループに分かれ、情報収集、討論、意見集約、発表、レポートの執筆等を繰り返しながら、基本的な能力を修得します。この能力は、6年間の大学生活において、学生自身が見聞し、体験し、感動する中で修得するすべての基礎となり、科学的、論理的判断を正しく下すことができる医師となるために重要な手段にもなります。ユニットの主管教員だけでなく、各グループに教養、基礎の教員がチューターとして参加し、レポート作成時に添削を何度も行ったり、グループ発表のノウハウを教えたりしてサポートします。今年度、講義初日から行ったグループワークでは、4月14・15日に実施した学外オリエンテーションで行う発表に向け、活発な議論を行いました。

上記２科目のほか、入学式の直後には急性アルコール中毒防止に係る特別講義を実施。6月上旬までにはネットリテラシー、禁煙教育、ハラスメント、薬物乱用防止など、最近の社会問題についても特別講義を行う予定です。このように、新入生が安全に有意義な大学生活を送ることができるよう、大学として注力しています。

兵庫医療大学
アカデミックリテラシー（1年次）

「大学で学ぶ」ことと「医療人としての基本的な態度」を身につける

大学入学後の学習に不安を抱えている新入生は少なくありません。そこで、共通教育センターの教員が中心となり、大学で専門科目を学ぶ前の基礎となる科目として「アカデミックリテラシー」を開講。大学における学習方法や医療人として必要なマナーを入学直後に集中して学びます。

授業では、ノートテイキングや情報検索、レポート作成法、医療人としての基本的なマナー、自学自習の態度などを総合的に身につけていきます。近年、パソコンやインターネット、スマートフォンなどの情報機器を自らが学ぶ手段として利用する機会が増えてきました。こうした新しい手段を用いた大学での学びを促すため、入学後すぐのこの時期に日本語能力とともに情報処理能力も養っていきます。また、後半の授業では演習やグループ討議を行います。他者と積極的に関わることのできるコミュニケーション能力を向上させることを目指します。

本格的な専門教育に入る前にこのような導入教育を行うことで、新入生の入学時の不安が解消されるだけでなく、それぞれの医療専門職分野における学習の基礎が築かれていきます。

兵庫医科大学病院 人事

兵庫医科大学病院は、平成29年4月1日より副院長の業務所掌を下記のとおり変更いたしました。

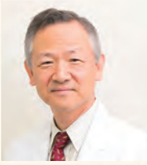
平成28年度の副院長体制

- 宮本 裕治副院長
  （外科部門長、手術センター、教育研修体制担当）
- 阪上 雅史副院長
  （医療安全、危機管理、経営企画担当）
- 三輪 洋人副院長
  （内科部門長、診療体制、教育研修体制担当）
- 西 信一副院長
  （地域連携、情報システム担当）
- 山田 明美副院長
  （療養環境、患者サービス、入退院管理担当）

平成29年度の副院長体制

- 阪上 雅史副院長
  （経営企画・新病院建設担当）
- 芳川 浩男副院長
  （地域連携・教育研修体制・新専門医制度担当）
- 三輪 洋人副院長
  （診療体制・広報担当）
- 西 信一副院長
  （医療安全・危機管理・情報システム担当）
- 長谷川 誠紀副院長
  （手術センター担当）
- 丸山 美津子副院長
  （療養環境、患者サービス、入退院管理担当）

就任挨拶 ＜平成29年4月1日就任＞



兵庫医科大学病院 副院長（地域連携・教育研修体制・新専門医制度担当）
芳川　浩男 内科学 神経・脳卒中科　主任教授

「医療支援センター」が新たに発足し、従来の地域医療・総合相談センター、入退院管理室、医療社会福祉部が１号館１階中央に集結しました。地域医療連携業務・総合相談業務・入院受付・退院経過支援業務等を統括するのが任務となります。次に、教育研修体制・新専門医制度ですが、平成16年に初期研修医臨床研修制度が新制度になり、私が平成17年より卒後臨床研修センター長を歴代院長から拝命し（通算12年間）、現在に至っています。また、院内の後期研修制度も平成18年から開始され、今年度から開始される「日本専門医機構」による新専門医制度にも対応すべく、現在準備中です。このタイミングでの副院長就任は、私にとって、新たな責務に身の引き締まる思いです。病院職員各位のご協力のもと、2年間の職務を全うしたいと思っています。

兵庫医科大学病院　副院長（手術センター担当）
長谷川　誠紀 外科学 呼吸器外科 主任教授

このたび、外科部門長、手術センター長、副院長を拝命いたしました。外科部門は病院収益の要であり、課せられた任務の大きさに身の引き締まる思いです。手術の高難易度化と患者さんの高年齢化が進む中で、求められる安全性と低侵襲性は高度化しています。そして、そのような高度なタスクを実施できる病院に手術は集約化されつつあります。その一方で若い医師の「外科離れ」の問題やワークライフバランスへの配慮も必要です。外科の各講座が有機的に繋がり合い1つの大外科部門として機能することが解決策であると考えます。

阪神間唯一の大学病院として地域に貢献できるよう全力を尽くしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

兵庫医科大学病院 副院長（療養環境、患者サービス、入退院管理担当）・看護部長
丸山　美津子

このたび、副院長・看護部長の任を拝命いたしました。

看護部長として、“SWEET”「Sincerity：誠実な行動、Warm：あたたかい対応、Evidence：根拠のある実践、Ethics：倫理的感性、Technique：確かな技術」をモットーに、看護職員一人ひとりが自己の役割と責任を果たせるよう、看護実践能力の向上を軸としたキャリア開発への取り組みを継承しつつ、さらなる発展を目指します。安全で質の高い医療提供に向けて、個々の力を最大限に活かし、創造的な看護が実践できる環境を整えるとともに地域社会に対しても高いホスピタリティを発揮していきたいと思います。さらに新病院建設に向け、看護部として積極的に病院経営へ参画し、組織目標の達成に向けた日々の活動に一人ひとりが「やりがい」「充実感」を実感できるよう支援していきたいと思います。

兵庫医科大学病院　医療社会福祉部長
大松　重宏 准教授

4月より医療社会福祉部長を拝命いたしました。言うまでもなく、大学病院もますます地域に根差した医療機関としての存在が期待されています。私は社会福祉の立場で患者さんとご家族のくらしを支援してきた経験から、「地域連携」の構築に尽力する所存です。また、マスコミ等で多種多様な社会的問題が取り上げられていますが、それらは既に患者さんの社会的背景に散見されており、患者さんやご家族、地域、また大学病院から求められるニーズは刻々と変化しています。それらの問題解決を支援すべくフロントラインにいる「医療社会福祉部」は、知識、経験、技術とともに十分に兼ね備えています。しかし、さらにより良い支援を部のスタッフ全員ができるような環境を築くことも私の大きな責務と考えます。今後ともかわらぬご指導ご支援をよろしくお願い致します。

兵庫医科大学病院　臨床検査技術部長
井垣　歩

このたび、臨床検査技術部長を拝命いたしました。臨床検査技術部は臨床検査部、超音波センター、輸血・細胞治療センター、病院病理部、内視鏡センターおよび健康医学クリニックなど、臨床検査業務に係る多くの部門に臨床検査技師を派遣しています。主に臨床検査技師の人事、教育面の管理と業務の効率化を行っています。2016年2月に検査室に対し高い臨床検査能力を保証する「臨床検査室認定（ISO15189）」を取得しました。基盤となる検査業務はもとより、チーム医療や病棟業務への参画、検査説明など多岐にわたって信頼できる良き臨床検査技師の育成を推進するとともに病院の効率性・経済性の確保に努め、大学病院における臨床検査技師の責務を果たしてまいります。今後も変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願いいたします。

兵庫医科大学 人事

主任教授就任挨拶 ＜平成29年4月1日就任＞

兵庫医科大学　内科学 呼吸器内科
木島　貴志 主任教授

4月1日付けで、内科学 呼吸器科の主任教授を拝命致しました。私は平成2年に大阪大学を卒業後、西宮市立中央病院での研修を経て、大学で肺癌遺伝子治療の研究を行いました。学位を取得後はハーバード大学ダナ・ファーバー癌研究所で肺癌分子標的治療の研究を行いました。帰国後は刀根山病院勤務を経て大阪大学に帰学し、呼吸器疾患全般の診療と並行して上記研究に加え肺癌の臨床研究を行ってきました。

本学でも肺癌や悪性胸膜中皮腫を中心とした胸部腫瘍の研究を継続すると同時に、臨床面でも各科との連携を大切にしながら、腫瘍だけでなく呼吸器疾患全般のオールマイティな診療を通じて一診療科として貢献し、実地臨床に則した幅広い視野での診療・教育・研究にバランスよく力を注いで行く所存ですので、ご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

兵庫医科大学　放射線医学
山門　亨一郎 主任教授

平成29年4月から放射線医学教室の5代目の主任教授を拝命しました山門です。

私の専門は放射線医学の中でも、カテーテルで肝臓癌の血管を詰めて治療する肝動脈塞栓術や、電磁波を出す針を癌に刺して癌を焼いてしまうラジオ波凝固療法に代表されるインターベンショナル　ラディオロジー（IVR）です。ラジオ波凝固療法で、肝癌以外にも腎癌や、肺癌、骨転移等が治療できますし、良性の原発性アルドステロン症や子宮筋腫もラジオ波凝固療法や塞栓術で治療できます。

放射線科は病院の中でも大きな役割を担っています。IVR以外にも画像診断、核医学、放射線治療、それぞれを発展させ、人材を育成し、兵庫医大、そして社会に貢献すべく精進してまいりたいと考えています。今後も、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

就任挨拶 ＜平成29年4月1日就任＞

兵庫医科大学　医学教育学　医学教育センター長
成瀬　均 教授

平成29年4月より医学教育センター長を拝命いたしました。

この10年、本学の医学教育はActive Learningの導入、国際認証に対する準備、研究医コースの創設、Post CC OSCE実施予定など、センター発足時には存在しなかった課題が次々と生まれました。国家試験対策は一応の方向性を見いだせたものの、合宿や予備校のビデオ視聴など、かつて本学が先取りしていた国家試験対策は、私学だけではなく国公立大学でも行われるようになり、そのアドバンテージが年々失われつつあります。さらに、全国的に留年者を増やして合格率を上げようとしている逆風の中で、本学がいかにして少ない留年率で戦っていけるかを問われる厳しい時代に突入しており、身が引き締まる思いです。言うまでもなく、本学の医学教育は各教員をはじめ関係各位のご協力によって成り立っております。どうか今後ともよろしくお願いいたします。

教授就任紹介 ＜平成29年3月1日就任＞

兵庫医科大学 生化学　**藤原　範子** 教授

略歴

昭和60年	3月	神戸大学農学部農芸化学科 卒業
昭和62年	3月	神戸大学大学院農学研究科修士課程 修了
昭和62年	4月	タマノイ酢株式会社 研究員
平成 6年	8月	大阪大学大学院医学系研究科生化学講座 研究生
平成11年	11月	大阪大学大学院医学系研究科生化学講座 博士研究員
平成15年	4月	兵庫医科大学生化学講座 講師
平成21年	3月	兵庫医科大学生化学講座 准教授

兵庫医科大学　生理学（神経生理部門）　**古江　秀昌** 教授

略歴

平成 5年	3月	国立九州工業大学情報工学部 卒業
平成10年	3月	九州工業大学大学院・情報工学研究科 博士課程 修了
平成10年	4月	佐賀医科大学 生理学教室 助手
平成13年	4月	九州大学大学院 医学研究院 統合生理学 助手
平成19年	4月	九州大学大学院 医学研究院 統合生理学 助教
平成21年	2月	自然科学研究機構生理学研究所 神経シグナル研究部門 准教授
平成21年	4月	総合研究大学院大学 生命科学研究科 准教授（併任）
平成23年	4月	国立精神・神経研究センター 客員研究員
平成28年	12月	兵庫医科大学 神経生理部門 准教授
平成28年	3月	自然科学研究機構生理学研究所 基盤神経科学領域 教授（併任）

兵庫医科大学ささやま医療センター 人事

就任挨拶 ＜平成29年4月1日就任＞

兵庫医科大学ささやま医療センター　副院長・看護部長
山田　明美

このたび、兵庫医科大学ささやま医療センター副院長・看護部長を拝命いたしました。

四十年間余りの長きに亘り、西宮キャンパスで高度急性期医療に携わってまいりましたが、篠山という歴史ある街で、地域密着型の医療現場で働けることは、超高齢社会を迎え、地域医療にシフトする我国の医療体制の先駆けを学べる機会と捉え、大変嬉しく思っております。

ささやま医療センターはこの3年間、太城病院長の指揮の下、職員一丸となって経営改善に取り組み、その成果を着実に残しています。このたび、片山新病院長を迎え、さらにすばらしい病院作りの一翼を担えることに、やる気満々です。

同一法人として、西宮・篠山キャンパスの職員の協力体制強化を図り、組織発展を目指して頑張る所存です。ご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

兵庫医療大学 人事

兵庫医療大学は、平成29年4月1日より副学長の業務所掌を下記のとおり変更いたしました。

平成28年度の副学長体制

- 末廣 謙副学長（教育担当）
- 前田 初男副学長（研究・広報担当）
- 藤田 幸久副学長（学生生活・キャリア支援担当）
- 藤岡 宏幸副学長（総務・入試担当）

平成29年度の副学長体制

- 前田 初男副学長（研究・社学連携担当）
- 藤岡 宏幸副学長（教育担当）
- 竹田 千佐子副学長（学生支援・就職・キャリア教育担当）
- 西山 信好副学長（総務・入試・広報担当）

副学長就任紹介 ＜平成29年4月1日就任＞

兵庫医療大学　副学長（学生支援・就職・キャリア教育担当）
竹田　千佐子　看護学部 教授

このたび、学生支援・就職・キャリア教育担当の副学長を拝命致しました。学生生活における危機管理をも含む大学生活全般に係る事項に始まり、個人の責任を基盤としたキャリア発達（自己実現過程）、そして就職と、学生の主体性・責任感を涵養できるよう各々の部署と協力していきたいと思っております。大学生活において、本学の教育目標に基づいた多くのことを修得するとともに、信頼される医療人として社会の中で生きるための基本的能力の涵養を育み、より快適で実り多き時間を過ごすことができるよう、副学長として、皆さまとともに学生を支援していく所存です。ご協力を宜しくお願い申し上げます。

兵庫医療大学　副学長（総務・入試・広報担当）
西山　信好　薬学部 教授

このたび、副学長を拝命いたしました。入試改革、自己点検・評価、広報が主業務となります。馬場学長がリーダーシップを発揮できるように全力で補佐してまいります。入試では、現行入試を改善することにより、アドミッションポリシーに沿った高大接続を可能とする入学者選抜を、適切に実施する体制の整備を行います。自己点検・評価では、教育の質保証サイクルを確実に作動させるとともに、2020年4月に迎える認証評価の更新に向けてロードマップを整備します。広報では、出願者・入学者の増加・確保を見据えつつ、学部・研究科のホームページ構成の統一化を図り、大学ブランドの一体感を強めてまいります。学校法人兵庫医科大学の建学の精神に則った医療職者を育成するために全力を傾注いたしますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

就任挨拶 ＜平成29年4月1日就任＞

兵庫医療大学　薬学部長
田中　稔之　教授

このたび、薬学部長を拝命致しました。大任に身が引き締まる思いです。薬学部は、基礎と臨床を融合させた薬学専門教育と医学・医療の関連分野と連携する薬学実践教育を通じて、人と社会の健康と幸福に広く貢献できる薬剤師の育成を大きな目的としています。本年は開学から10年を経て新たなステージを迎えます。この新しいスタートを革新の時としてとらえ、本学で学ぶ薬学生に真に適する教育体制に必要な改革を施し、国家試験の成績も高められるよう直面する課題に正面から取り組みます。これまでの実績を踏まえ、学生を学修と生活の両面からサポートし、在学生・卒業生が誇りとする魅力ある薬学部へ発展できるよう全力を尽くす所存です。ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

兵庫医療大学　リハビリテーション学部　理学療法学科長
川口　浩太郎　教授

平成29年度より、リハビリテーション学部理学療法学科長を拝命いたしました。大学設置準備室から兵庫医療大学に関わり、はや10年の月日が流れました。開学当初より、「臨床で活躍できる医療人の育成」を目指して教育を行ってきました。多くの卒業生が臨床の場で活躍し、本学の臨床教育にも携わってくれています。平成29年度は、開学10周年を迎え、兵庫医療大学にとっても節目の年になります。理学療法士を取り巻く環境は、この10年で変化してきていますが、理学療法士に求められる臨床力の基本部分は、今も変わらずにあると思います。学部教育では、臨床力の基本部分の教育を徹底するとともに、今一度、初心に立ち返り、「臨床で活躍できる医療人の育成」を目指して尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

兵庫医療大学　リハビリテーション学部 作業療法学科長
山田　大豪　教授

このたび、作業療法学科長を拝命いたしました。作業療法は、医療、保健・福祉をはじめ、教育、職業関連を含む分野で、作業活動を用いて心や体に働きかける専門職です。

作業療法学科では、作業療法をどのように行い、それが人間の生活活動や心身機能にどのように結びついているのかを考えることができる臨床的な推論力が習得できるよう教育しています。特に、対象者の疾患の治療に必要な知識や技術を修得し、さらに対象者の個別性、多義性、主観性といった個々の事実に目を向ける見方を重視したいと考えています。病む人の生活や人生まで想定した作業療法教育を目指しています。皆様方のご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

兵庫医療大学　薬学研究科長
辻野　健　教授

平成29年度より、薬学研究科長の任を拝命致しました。私は平成21年に兵庫医科大学循環器内科から兵庫医療大学薬学部に赴任した時、前学長松田暉先生に薬学研究科の立ち上げを手伝うよう命ぜられ、それ以来、研究科の設置・運営に携わってまいりました。多くの教員や事務職員の方々の多大なるサポートを得て、幸い平成28年度に2人の1期生に博士号を取得していただくことができました。薬学部は薬剤師国家試験合格率の向上を唯一無二の目標として教育に注力すべき状況にはありますが、大学／大学院である以上、研究活動の維持・発展も欠かせません。医療の発展に貢献できる薬学研究者の養成を目指し、尽力する所存ですのでよろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。もし薬学博士を目指したい方がいらっしゃいましたらぜひ本研究科への入学をご考慮ください。

就任挨拶 ＜平成29年4月1日就任＞

兵庫医療大学　看護学研究科長
土田　敏恵　教授

このたび、看護学研究科長を拝命いたしました。

本研究科が開設された平成23年4月から30名の修士修了生を輩出しました。彼らは、看護学修士として其々の臨床や教育の場で課題を解決し変革をもたらす人材として活躍しており、本研究科の教育成果として評価できるものと考えます。そして、看護学研究科は次のステージである博士後期課程の開設に向かいます。馬場学長が牽引するHUHS vision 20に基づき、特色ある大学院教育と人材育成を目指し、本学ならではの博士後期課程とすべく鋭意準備を行います。また、平成28年度から始まった地域在宅看護実践力育成プログラムを軌道に乗せ、本研究科の特色ある教育として確立させることも喫緊の課題です。これらは関係各位からの益々のご協力とご鞭撻がなければ成し得ない事業ばかりです。今後共ご支援のほどよろしくお願い致します。

兵庫医療大学　学生部長
大河原　知水　薬学部 教授

このたび、学生部長を拝命いたしました。学生生活を全うする上で、学生の修学を支援し、問題解決に当たる学生委員会の役割は大変重要です。本学が標榜するチーム医療教育は、裏を返すと異なる背景を持つ学生が1つのキャンパス内に混在し、関わり合うことを意味します。私は、今まで薬学部の学生委員として学生委員会に関わって参りましたが、今後は大学院を含む全学部の問題点を学び取り、兵庫医療大学が全ての学生に思い出深い学びの場となるよう最善を尽くしたいと思います。スマートフォンが学生生活の必需品となった現在、学生を取り巻く環境はますます拡張し、多様化、複雑化の一途を辿っています。学生指導もIT技術の進歩に後れを取ること無く、現実を見きわめた合理的な対応をしたいと思います。どうかご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

兵庫医療大学　図書館長
伊東　久男　共通教育センター　教授

このたび、末廣謙教授の後任として、図書館長を拝命いたしました。本学の図書館は神戸港ハーバーランドを一望できる絶景のロケーションにあり、美しい神戸キャンパスの中でも最高に誇れる施設であります。開学から10年が経ち、関係各位のご尽力により、蔵書数や雑誌の種類も充実したものとなりました。また近年、パソコンやモバイルで最新情報を簡単に入手できる時代となりましたが、このような情報ネットワークの目覚ましい進歩にも対応して参りました。今後、従来の書籍中心の図書館から新しい機能をもつ図書館にさらなる発展を目指したいと思います。機関リポジトリの在り方、高騰する電子ジャーナル対策など種々の課題に取り組み、教育支援・研究支援に寄与できる図書館を目指しますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

教授就任挨拶 ＜平成29年4月1日就任＞

兵庫医療大学　リハビリテーション学部 作業療法学科
勝野　朋幸　教授

このたび、リハビリテーション学部　作業療法学科の教授を拝命しました。

私は平成9年に兵庫医科大学を卒業し、旧第2内科入局後、兵庫県立淡路病院（現兵庫県立淡路医療センター）、讃和会友愛会病院を経て、兵庫医科大学 糖尿病内科の一員となりました。糖尿病内科と内分泌・代謝内科が合併（現糖尿病・内分泌・代謝科）した後は、准教授兼医局長として診療と臨床研究、教育やチーム医療に従事してまいりました。

兵庫医療大学では、これまで経験したチーム医療のすばらしさを伝えながら、学生教育や臨床研究に邁進する所存です。ご支援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

評議員の異動

次の通り評議員の異動がありました。

評議員					
新任（4月1日）	ささやま医療センター 病院長	片山　覚	退職	人事部参与	山田　繁代
新任（4月1日）	兵庫医療大学教授・薬学部長	田中　稔之	辞任	兵庫医療大学教授・薬学部長・大学院薬学研究科長	西山　信好
新任（4月1日）	兵庫医療大学教授・リハビリテーション学部長	山﨑　せつ子	辞任	兵庫医療大学教授・大学院看護学研究科長	竹田　千佐子
新任（4月1日）	兵庫医科大学教授・兵庫医科大学病院副院長	西　信一	辞任	兵庫医科大学教授・兵庫医科大学病院副院長	宮本　裕治
新任（4月1日）	清水クリニック 院長（兵庫医科大学後援会会長）	清水　聡一郎	定年退職	総務部長	古川　信衛

財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

（単位：千円）

助成団体名	研究課題名	研究者	交付額
(公財)日本心臓財団	脳梗塞予防の新規標的因子としての頚動脈プラーク内新生血管増生の検討	山田 清文	2,000
(公財)ブレインサイエンス振興財団	円口類ヌタウナギを用いた小脳進化の研究	菅原 文昭	800

皆様からのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

学校法人兵庫医科大学基金 兵医・萌えの会 状況報告

H21.7.1～H29.3.31

区　分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合　　計	
	件　数	金　額	件　数	金　額	件　数	金　額
申　込	324	69,205,000円	1,605	116,220,498円	1,929	185,425,498円
入　金	324	69,205,000円	1,601	115,560,498円	1,925	184,765,498円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧 50音順　H29.1.1～H29.3.31

〔緑樹会・後援会・その他個人〕（103名）

●ご芳名・金額記載　29名

猪崎 俊一 様　50,000円
今中 久美子 様　10,000円
今中 利昭 様　50,000円
岡谷 文子 様　10,000円
岡本 弘子 様　50,000円
金田 敬三 様　50,000円
岸上 涼子 様　50,000円
久我 一郎 様　50,000円
後藤 俊文 様　50,000円
小林 鈴子 様　50,000円
齋藤 純一 様　50,000円
三反田 忠満 様　50,000円
末 勝喜 様　50,000円
土井畑 公昭 様　10,000円
土井畑 雅代 様　50,000円
中井 久夫 様　100,000円
萩森 晃 様　500,000円
萩森 シャンタル 様　10,000円
檜垣 イサノ 様　50,000円
福田 八郎 様　500,000円
福田 晴美 様　10,000円
三上 展弘 様　50,000円
水野 叡子 様　50,000円
宮﨑 弘悦 様　20,000円
本﨑 貴子 様　10,000円
森 美樹 様　5,000円
山本 泰雄 様　5,000円
渡邊 猛 様　50,000円
渡邊 みち子 様　10,000円

●ご芳名のみ　31名

赤井 純子 様
池元 美幸 様
岡 哲夫 様
岡本 茂登 様
岡本 洋子 様
熊谷 裕美 様
熊谷 政敏 様
倉橋 裕 様
兒玉 善子 様
兒玉 喜徳 様
鈴木 圭子 様
大黒 幸子 様
大黒 貴 様
髙尾 和良 様
髙尾 素子 様
寺田 直子 様
土橋 昌子 様
中澤 正孝 様
中野 武士 様
藤原 宜子 様
藤原 悟朗 様
藤原 大 様
松本 圭子 様
松本 ふくゑ 様
森廣 洋子 様
安村 勝枝 様
山下 秀文 様
山田 志津子 様
山本 悦也 様
山本 純子 様
山本 洋子 様

（匿名 43名）

〔企業等法人〕（7法人）

●ご芳名・金額記載　1法人

株式会社白洋舎 様　300,000 円

●ご芳名のみ　3法人

鹿島建設株式会社関西支店 様
株式会社共英メソナ 様
八洲薬品株式会社 様

（匿名 3法人）

〔役員・教職員等〕（4名）

●ご芳名のみ　3名

畑 守人 様
山田 明美 様
山田 繁代 様

（匿名 1名）

兵庫医科大学新教育研究棟建設事業募金
～開学40周年記念事業募金～

H24.7.1～H29.3.31

区　分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合　　計	
	件　数	金　額	件　数	金　額	件　数	金　額
申　込	198	1,160,815,000円	574	314,049,358円	772	1,474,864,358円
入　金	198	1,158,315,000円	574	313,185,858円	772	1,471,500,858円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧 50音順　H29.1.1～H29.3.31

〔企業等法人〕（2法人）

●ご芳名・金額記載　1法人

株式会社メイマネジメント 様 1,000,000円

●ご芳名のみ　1法人

燦ホールディングス株式会社 様

〔役員・教職員等〕（12名）

●ご芳名・金額記載　1名

古江 秀昌 様　250,000 円

●ご芳名のみ　7名

東 知明 様　馬場 紀行 様　妻鹿 国博 様
荒木 和浩 様　平野 公通 様
畠田 典子 様　福島 和明 様　（匿名 4名）

〔緑樹会・後援会・その他個人〕（1名）

（匿名 1名）

5月

6日	兵庫医科大学	禁煙教育特別講義（1学年次、他学年も聴講可）
20日	兵庫医科大学	ハラスメントに係る特別講義（1～4年次）
20日	兵庫医科大学	篤志解剖体納骨式
22日～	兵庫医療大学	ナレッジキャピタル"Active Lab"内「大学都市KOBE!発信プロジェクト」ブース展示
日程未定	兵庫医療大学	大学行事実行委員会主催スポーツ大会

6月

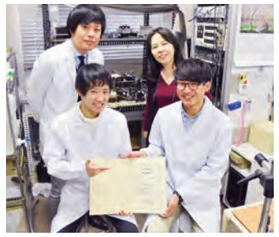
1日（予定）	ささやま医療センター	さなぶり演芸会
3日	兵庫医科大学	薬物乱用防止に係る特別講義（1年次、他学年も聴講可）
3日	兵庫医科大学病院	地域医療懇談会
4日	兵庫医療大学	兵庫医療大学 薬学部×兵庫医科大学病院 薬剤部 合同イベント「薬剤師への道」
11日	兵庫医療大学	看護学部イベント「看護職への道」
15日	学校法人兵庫医科大学	中医薬孔子学院設立5周年記念学術シンポジウム
17日	兵庫医科大学	後援会総会
17日	兵庫医科大学	Advanced OSCE（6年次）
17・18日	兵庫医療大学	リーダーズキャンプ
19日	兵庫医科大学	関西公立私立医科大学・医学部連合シンポジウム
22日	兵庫医療大学	高校教員対象入試説明会
24・25日	学校法人兵庫医科大学	幹部教員FDプログラム

7月

1日	兵庫医科大学	心配蘇生法実習（1年次）
3～7日	兵庫医科大学	早期臨床体験実習（1年次）
13日	兵庫医科大学	平成28年度第5学年次　成績優秀賞・優秀プレゼンテーション賞・優秀アウトカム賞表彰式
15・16日	兵庫医科大学	医学教育ミニ・ワークショップ
20・21日	兵庫医科大学	トリアージ訓練（4年次）

TOPICS

～兄弟校 兵庫医科大学と兵庫医療大学の共同研究成果～
学生主体で行った研究が、学会で優秀演題賞を受賞！



2016年11月10日に熊本県で開催された「第69回 日本自律神経学会総会」で、兵庫医科大学 生理学（生体機能部門）研究室で学生が行った研究が「優秀演題賞」を受賞しました。

今回受賞した研究の中心を担ったのは、兵庫医療大学 リハビリテーション学部 理学療法学科に所属する学生2名です。法人内2大学（兵庫医科大学・兵庫医療大学）の連携を推進するべく、兵庫医科大学 医学部 生理学（生体機能部門）荒田晶子准教授の研究室と、兵庫医療大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 玉木彰教授の研究室で共同研究を行っている取り組みの一環として、2016年4月より半年間、荒田准教授の研究室で「歩行と呼吸の協調関係」に関する研究を手がけました。

>>研究の詳細は兵庫医科大学ホームページをご覧ください

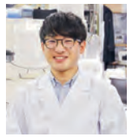
http://www.hyo-med.ac.jp/news/20170330-01.html

岩野　優
（兵庫医療大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 4年次）

もともと生理学に興味があったため、玉木先生から「兵庫医科大学の研究室で研究してみないか?」という話をいただいた時、期待に胸を膨らませ、「お願いします!」と二つ返事で研究を始めました。

理学療法学科ではヒトを対象とした研究がほとんどですが、今回行ったような基礎研究が自分には向いていたようで、半年間ずっと楽しかったです。研究室はとても居心地がよく、荒田先生や研究室の先輩も優しくて、リラックスした状態で研究に集中することができました。

研究をする中で身についたことは「考える力」です。「なぜ?」と感じたらすぐに原因を調査するように心がけ、野間君と知恵を振り絞って解決策を練りだしました。この「考える」というプロセスは、理学療法士として働く上でも重要な要素だと思うので、今後も活かしていきたいです。



野間　俊希
（兵庫医療大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 4年次）

自分たちが関わった研究に対して賞をいただけてうれしいです。

研究室には、兵庫医科大学の大学院生、医学部生だけでなく、東京大学や九州大学など様々な機関からの人が出入りしていて刺激になりましたし、10本以上の参考論文を英語で読むという経験も貴重でした。難しいテーマなので勉強が苦しく感じることもありましたが、研究を始めてから、自分には何が足りないのかを考えるくせが身につきました。

また、卒業研究発表の場で理学療法学科生全員を前に成果を報告したのですが、兵庫医療大学の学生であるにも関わらず、兄弟校である兵庫医科大学の研究室に所属させてもらっていたので、「期待に添えるような結果を出して発表したい」と思い、プレゼンにも一層熱が入りました。素晴らしい先生や研究員の皆さんのもとで研究させてもらえたこと、すべてに感謝します。